

第 23 回岩手県食の安全安心委員会

資料 2 食育関係

| | | |
|--------|-------------------------------------|--------|
| 資料 2-1 | 岩手県食育推進計画に関する施策の進捗状況 (令和元年度)【総括】 | 1 ページ |
| 資料 2-2 | 指標の実績 | 3 ページ |
| 資料 2-3 | 施策毎の具体的取組の実績 | 6 ページ |
| 資料 2-4 | 県以外の主体の取組状況 | 18 ページ |

岩手県食育推進計画に関する施策の進捗状況（令和元年度）【総括】

Ⅰ 主要指標の進捗状況

| 施策区分 | 主要指標 | 基準年度 (H26) | 目標年度 (R2) | R1 実績 |
|-------------------------|--------------------------|---------------|--------------|----------|
| Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進 | 朝食を毎日食べる子どもの割合 小学校4年生 | 97.4% | 100%に近づける | 96.6% |
| | 中学校3年生 | 92.0% | 100%に近づける | 89.6% |
| | 高校3年生 | 88.0% | 100%に近づける | 84.9% |
| | 肥満傾向のある割合 小学校5年生 | 13.7% | 10.6% | 13.5% |
| | 中学校2年生 | 10.6% | 9.7% | 12.0% |
| | 高校2年生 | 11.6% | 10.7% | 12.2% |
| Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進 | 食の安全安心に関する出前講座等の実施回数 | 141回 | 150回 | 152回 |
| Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進 | 地産地消促進計画を策定している市町村の数 | 13市町村 | 25市町村 | 28市町村 |
| Ⅳ 地域に根ざした食育の推進 | 市町村食育推進計画を策定している市町村の割合 | 93.9% | 100% | 100% |

Ⅱ 施策毎の取組状況と今後の課題

施策Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

(1) 取組状況

- ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、東北学校保健大会の開催、「本県の学校における食育の重要な視点」等や「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」の周知、「食育だより」等を活用した家庭への情報提供等を実施。
- ・栄養・健康づくり関係者に対する研修、全ての年齢層に向けた口腔の健康づくりの推進運動等を実施。

(2) 今後の課題

- ・朝食を毎日食べる子どもの割合は、前年と比較し、微増（0.1～0.5%の増）したが、基準年度との比較では、概ね1～3%減少している。今後も児童生徒への指導や家庭への情報提供等、学校・行政・家庭・地域等の関係機関が連携し、食育教室、各種健康教室を通じた取組を継続する必要がある。
- ・肥満傾向のある割合については、いずれの学年も前年と比較し、概ね1%増加しており、全国平均より高い状況にある。引き続き、肥満予防の取組を継続していく必要がある。

施策Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

(1) 取組状況

- ・食中毒、食品表示、HACCP等をテーマにし、リスクコミュニケーションや出前講座等を着実に実施。
- ・食品の安全性に関する情報の周知や、災害発生時の食の安全安心確保に係る取組を実施。

(2) 今後の課題

- ・食の安全安心推進計画の年度目標に基づく指標は達成しているが、今後も引き続き、食の安全安心に関する出前講座等を実施していくとともに、より理解度が高まる対話重視の講座の実施等により、県民の食の安全安心に関する理解を図る必要がある。

施策Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

(1) 取組状況

- ・食の安全安心推進計画の年度目標に基づく指標（地産地消促進計画を策定した市町村数）は達成した。
- ・「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進や、食べ残し抑制等3Rに係る普及啓発、食の匠の伝承会やイベント等を実施。

(2) 今後の課題

- ・天候不良等の影響による一過性のものと考えられるが、学校給食における県産食材、国産食材の利用割合は低下しており、今後も引き続き、郷土料理の活用等により利用を推進する必要がある。
- ・農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進、岩手の食文化の継承についても継続実施する。

施策Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

(1) 取組状況

- ・食育月間や食育の日、「いわて減塩・適塩の日」や「いわて短角牛学校給食の日」等を活用した食育の普及啓発、「いわて食育応援団」認証制度の創設と企業等との連携、食育推進県民大会の開催や各種コンクールを活用した広報活動を実施。
- ・子ども食堂等の子供の居場所づくりに取り組む市町村を支援し、新規開設等に要する経費について一部補助を行った。
- ・平成30年11月時点で、全市町村が食育推進計画を策定。

(2) 今後の課題

- ・現状の取組を継続するとともに、町村食育推進計画については、研修会の開催等を通じて改定、更新を支援する必要がある。

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

| 項目 | 基準年度 (H26) | 目標年度 (R2) | 指標設定の考え方 | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 特殊要因の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|---|-------------------------|------------------------|--------------------------------------|-------------------------|-------------------------|--|---------|--|-------|
| 1 朝食を毎日食べる子どもの割合 小学校4年生 中学校3年生 高校3年生 | 97.4% 92.0% 88.0% | 100.0% に近づ ける | 100%に近づけることを目指します。 | 96.5% 89.1% 84.7% | 96.6% 89.6% 84.9% | いずれの学年も、基準年度と比較し、1～3%減少している。 | | 学校、行政、関係機関、食生活改善推進員等による、食育教室、各種健康教室を通じ、啓発に取り組む。 | 健康国保課 |
| 2 肥満傾向のある割合 小学校5年生 中学校2年生 高校2年生 | 13.7% 10.6% 11.6% | 10.6% 9.7% 10.7% | 平成 26 年度の東北6県の中で肥満傾向割合が一番低い数値を目指します。 | 12.6% 11.1% 11.2% | 13.5% 12.0% 12.2% | 教職員を対象とした研究大会等において、肥満予防に向けた取組を紹介するとともに、各校において取組を行った。基準年度と比較し、小5は 0.2%減少、中2は 1.4%増加、高2は 0.6%増加している。 | | 県内における肥満予防の実践的な取組を研究大会等で紹介するとともに、「本県の学校における食育の重要な視点」について周知を図る。併せて、「カミカミ運動」及び「希望郷いわて元気・体力アップ 60 運動」を推奨する。また、軽度肥満児童対象の個別相談指導資料及び保護者対象の望ましい食習慣啓発資料の周知等により、各学校における取組を支援する。 | 保健体育課 |

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】
 ②「定期健康診断」(保健体育課)R1 対象者数 小5年 9,957 人 中2年 9,990 人 高2年 8,583 人(目標値は、「学校保健統計調査」(文部科学省))

II 食の安全安心を支える食育の推進

| 項目 | 基準年度 (H26) | 目標年度 (R2) | 指標設定の考え方 | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 特殊要因の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|------------------------|---------------|--------------|-------------------------|-----------|----------|---|---------|--|-----------|
| 1 食の安全安心に関する出前講座等の実施回数 | 141 回 ※ | 150 回 | 過去 5 年間の平均を上回ることを目指します。 | 166 回 | 152 回 | 出前講座の実施について、ホームページやチラシ、通知等を通じて、市町村、関係団体等に対し積極的に周知に努めたこと等により目標を達成した。 | | 引き続き県民に周知を行い、食品の安全性確保に関する理解の促進等のため、出前講座の実施に取り組む。 | 県民くらしの安全課 |

※ H21～26 年度の平均。なお、H23 年度は東日本大震災津波の影響により実施回数が減少したことから除く。

III 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

| 項目 | 基準年度 (H26) | 目標年度 (R2) | 指標設定の考え方 | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 特殊要因の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|------------------------|---------------|--------------|-----------------------------|-----------|-----------|---|---------|---|------|
| 1 地産地消促進計画を策定している市町村の数 | 13 市町村 | 25 市町村 | 未策定の沿岸市町村を除く全市町村での策定を目指します。 | 27 市町村 | 28 市町村 | 県内の計画未策定市町村を訪問するなど働きかけを行った結果、1件の策定報告があった。 | | 計画未策定市町村を訪問して説明・要請を行うなど、引き続き地産地消促進計画の策定(更新)促進に取り組む。 | 流通課 |

IV 地域に根ざした食育の推進

| 項目 | 基準年度 (H26) | 目標年度 (R2) | 指標設定の考え方 | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 特殊要因の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|--------------------------|---------------|--------------|-------------------|-----------|----------|---------------|---------|--|-----------|
| 1 市町村食育推進計画を策定している市町村の割合 | 93.9% | 100% | 全ての市町村での策定を目指します。 | 100% | 100% | 全ての市町村で策定された。 | | 県内各市町村に対して、食育推進計画の更新を促進するとともに、研修会の開催等により策定への支援を行う。 | 県民くらしの安全課 |

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】
 ①調査対象:全 33 市町村 出典:農林水産省・県県民くらしの安全課調べ/計画の取扱いについて、総合計画等の他の計画中に食育の取組みが記載されている場合も食育計画に該当するとしている。

【参考指標】

2 参考指標の実績に関すること

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

令和2年7月 27 日 下線部修正

| 項目 | 基準年度 | | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--|---|----------|
| | 現状値 | 年度 | | | | | |
| 1 3歳児のむし歯のある者の割合 | 24.3% | 25 年度 | 18.7% | — | R1 実績値は現在集計中。 | 乳幼児及びその保護者を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。 | 健康国保課 |
| 2 12 歳児の（永久歯）むし歯のある者の割合 | 32.1% | 26 年度 | 39.0% | — | R1 実績値は現在集計中。 | 児童・生徒及びその保護者を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。 | 健康国保課 |
| 3 60 歳代における咀嚼良好者の割合 | 71.6% | 24 年度 | — (H28 72.4%) | — | 今回は R3 年度に評価予定。 | 成人を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。 | 健康国保課 |
| 4 食に関する指導の全体計画作成校 小学校 中学校 高校 | 99.1% 94.0% 20.8% | 26 年度 26 年度 26 年度 | 100% 100% 52.0% | 100% 99.4% 52.6% | 食育推進研修会等における周知等により、小・中学校においてはほぼ 100%となっている。 | 研修会等で食に関する指導のあり方について取り上げる、全体計画例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 | 保健体育課 |
| 5 肥満予防取組実施状況 小学校 中学校 高校 | 98.5% 75.0% 48.1% | 26 年度 26 年度 26 年度 | 100% 97.5% <u>87.5%</u> | 99.7% 93.0% <u>79.3%</u> | 高校における取組状況の割合が、8.2%減少している。 | 研修会等で肥満予防の取組について取り上げる、指導資料の周知を図る等により、学校における肥満予防の取組を支援する。 | 保健体育課 |
| 6 教育振興運動の実践区による食育活動数 | 155 実践区 | 26 年度 | 167 件 | 186 件 | 県内 501 実践区中 186 実践区で食育推進活動を実施した。 | 教育振興運動推進に係る研修会を通じ、啓発を行う。 ※全県1回(7/8)、各教育事務所管内(地域の実態に応じて) | 生涯学習文化財課 |
| 7 主食・主菜・副菜をほとんど毎日揃えて食べる者の割合 (20 歳以上) | 68.8% | 24 年度 | — (H28 63.4%) | — | 今回は R3 年度に評価予定。 | 管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象とした「健康的な食事推進マスター」の養成により、地域における取組体制の充実を図る。 | 健康国保課 |
| 8 食塩摂取量の平均値(20 歳以上) | 11.8g | 24 年度 | — (H28 10.0g) | — | 今回は R3 年度に評価予定。 | 同上及び「いわて減塩・適塩の日」を中心とした啓発を行う。 | 健康国保課 |
| 9 毎日最低一食は家族や友人などと一緒に 30 分以上かけて食事をしている者の割合(20 歳以上) | 65.3% | 24 年度 | — (H28 60.2%) | — | 今回は R3 年度に評価予定。 | 管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象とした「健康的な食事推進マスター」の養成により、地域における取組体制の充実を図る。 | 健康国保課 |
| 10 栄養成分表示店店舗数 | 126 店舗 | 26 年度 | 261 店舗 | 275 店舗 | R1 年度の新規登録店舗数は例年より若干少なかったが、基準年以降 149 店舗増加している。 | 店舗数増加に向けた働きかけを強化する。 | 健康国保課 |

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】

④食に関する指導の全体計画「食に関する指導実施状況等調査」 公立の全学校／⑤肥満予防取組「保健体育行政関係調査」 公立の全学校

II 食の安全安心を支える食育の推進

| 項目 | 基準年度 | | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|------------------------------|------|-------|-----------|----------|--|---|-----------|
| | 現状値 | 年度 | | | | | |
| 1 食の安全安心に関するリスクコミュニケーション開催回数 | 4回 | 26 年度 | 4回 | 5回 | 食品表示、食中毒、食品安全及び健康食品をテーマに5回(うち、対話を重視した 20～30 人程度の講座を3回)実施し、食品の安全性確保に関する理解の促進を図った。 | 食中毒、残留農薬及び健康食品等をテーマに4回(うち、対話を重視した 20～30 人程度の講座を3回)開催する。 | 県民くらしの安全課 |

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

令和2年7月 27 日 下線部修正

| 項目 | 基準年度 | | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|--|-------------------|----------------|----------------------------|-------------------|---|--|---------|
| | 現状値 | 年度 | | | | | |
| 1 農林漁業体験インストラクター等の実施支援 実施件数 参加人数 | 140 件 15,130 人 | 26 年度 26 年度 | 108 件 20,859 人 | 132 件 25,304 人 | 農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 | 農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施(計画件数約 110 件、計画人数約 23,000 人)。 | 農林水産企画室 |
| 2 学校給食における 県産食材の利用割合(食材数ベース) 国産食材の利用割合(食材数ベース)※2 | 38.5% 87.5% | 26 年度 26 年度 | 県産 27.8% 国産 77.3% | 調査中 | 文部科学省が例年行っている地場産物利用の抽出調査であり、発表は令和2年秋以降になる見込み。 | 研修会等を通じて、県産食材や国産食材を取り入れた学校給食を教材とした食に関する指導の推進を支援する。 | 保健体育課 |
| 3 給食施設での県産食材利用率(重量ベース) ※3 | 42% | 26 年度 | 61% | － | (2年に1回の調査となっており、R1は調査していない。次回はR2の実績について、R3.12 月頃にとりまとめの見込み) | ホームページ等による旬の食材のPR等を通じた県産食材の情報提供や、栄養職員等を対象とした研修等の実施により、引き続き県産食材の利用促進に取り組む。 | 流通課 |
| 4 食の匠認定数(累計) 伝承活動開催回数 | 246 人・団体 33 回 | 26 年度 26 年度 | 273 人・団体 37 回 | 277 人・団体 30 回 | 令和元年度、新たに4名を認定した。県内各地で食の匠による郷土料理の伝承会などを開催し、魅力ある岩手の食文化を伝承・発信した(延べ 30 回)。 | 岩手県食の匠の認定を行うとともに、伝承会やイベント等を通じて岩手の魅力ある食文化の発信を行う。 | 農業普及技術課 |
| 5 3R推進キャラクターエコロルの普及啓発活動数 | 38 回 | 26 年度 | 34 回 | 32 回 | ・食育普及啓発キャラバンへの参加、保育園訪問事業及びイベント出演等を通じて、食べ残しの抑制など3Rに係る普及啓発を実施した。(エコロル活動実績 32 回) ・特に、食べ残しの抑制については、「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」(R1.12～R2.1)期間中、県民に「30・10運動」の実践を呼びかけた。また、「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の募集・周知に取り組み、食べ残しの抑制等を図った。 | 保育園等への訪問事業やホームページ等による啓発を通じて、3Rの推進に取り組む。また、引き続き「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」の実施及び「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の募集・周知を行う。 | 資源循環推進課 |

※2 県内の学校をランダムに5施設抽出し、年2回(各5日間)実施する調査。

※3 県内の給食施設において、2年に1回(毎月の1週間)給食に利用した食材の全量に占める県産食材の割合を調査するもの。

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】
②学校給食施設・5施設・「学校給食栄養報告」(文部科学省・食材数ベース)

Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

| 項目 | 基準年度 | | H30 実績 | R1 実績 | R1 実績の説明 | 今後の対応 | 担当課等 |
|---------------------|------|-------|-----------|----------|---|--|-----------|
| | 現状値 | 年度 | | | | | |
| 1 食育の取組を行っている市町村の割合 | 100% | 26 年度 | 100% | 100% | 工夫を凝らした様々な取組(保育所が学校給食への地場産品の取入れ、食育講演会や食育教室の開催、栄養教室、調理実習の実施等)が実施されている。 | 岩手県食育取組事例集の活用、市町村食育業務担当職員研修会での事例発表やグループワークの開催等により、地域に根ざした食育の取組を促す。 | 県民くらしの安全課 |
| 2 食育普及啓発キャラバン実施回数 | 5回 | 26 年度 | 5回 | 5回 | 5市町村(岩手町・田野畑村・普代村・宮古市・野田村)の保育所を訪問し、岩手県栄養士会・JA 全農いわて(純情むすめ)による絵本の読み聞かせ、岩手県歯科医師会等による歯磨き指導、岩手県3R 推進キャラクター「エコロル」による食べ残し等のごみ減量の呼びかけ等を実施した。 | 6月の食育月間に合わせて県内の保育所等にキャラバンを行い、食育の重要性を普及啓発する。 ※ただし、R2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、キャラバンの実施を見送る予定。 | 県民くらしの安全課 |

【指標に係る参考データ(調査対象・対象数、調査名等)等】
①全 33 市町村 出典:農林水産省・県県民くらしの安全課調べ

岩手県食育推進計画 施策毎の具体的取組

資料 2-3

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|------------------|----------------------|-----------|----|---|---|--|---------------|
| 1 乳幼児等の健全な食習慣の形成 | (1) 妊産婦や乳幼児の食事指導への支援 | 子ども子育て支援室 | 1 | 妊産婦のための食事バランスガイドの普及 | ・ 岩手型母子健康手帳中「妊娠中と産後の食事」「妊娠中と産後の食事の目安」についての項目を記載し、妊娠届出時に市町村にて妊産婦に対し岩手型母子健康手帳を交付することで普及啓発に努めた。 | ・ 岩手型母子健康手帳中「妊娠中と産後の食事」「妊娠中と産後の食事の目安」についての項目を記載し、妊娠届出時に市町村にて妊産婦に対し岩手型母子健康手帳を交付することで普及啓発に努める。 | (参考) I-1 |
| | | | 2 | 授乳・離乳の支援ガイドの普及 | ・ 市町村母子保健担当者等の妊産婦や子どもに関わる保健医療従事者に対して、通知等を通じて離乳・授乳の支援ガイド（2019年改訂）の普及啓発に努めた。 | ・ 市町村母子保健担当者等の妊産婦や子どもに関わる保健医療従事者に対して、離乳・授乳の支援ガイド（2019年改訂）の普及啓発に努める。 | |
| | (2) 子育て相談の実施 | 子ども子育て支援室 | 3 | 基本的な生活習慣や食生活をはじめとする子育てに関する電話相談やメール相談の実施 | ・ 各市町村で実施している子育て相談への支援を行った。 ・ 子育てサポートセンターの委託事業を継続、相談窓口を設置し、子育てに関する相談への助言や各機関への紹介を行った。 | ・ 各市町村で実施している子育て相談への支援を行う。 ・ 子育てサポートセンターの委託事業を継続、相談窓口を設置し、子育てに関する相談への助言や各機関への紹介を行う。 | (参考) I-1 |
| | (3) 口腔の健康づくりの推進 | 健康国保課 | 4 | 口腔の健康づくりの推進 | ・ 乳幼児の保護者、保育士等に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発した。 ＜岩手県口腔保健支援センター＞ ・ 乳幼児のフッ化物応用強化 保健所担当者会の開催 行政歯科保健担当者研修会の開催 ・ イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展（6/2）、岩手県いい歯の日のつどいin釜石の開催（11/10）、イー歯トープ8020表彰式の開催（11/30） | ・ 乳幼児の保護者、保育士等に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。 ＜岩手県口腔保健支援センター＞ ・ 乳幼児のフッ化物応用強化 保健所担当者会の開催 行政歯科保健担当者研修会の開催 ・ イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展（12月予定）、岩手県いい歯の日のつどいin二戸の開催（11/8）、イー歯トープ8020表彰式の開催（12月予定） | (参考) I-1～3 |
| | | | | | ・ 「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 ・ 「食事摂取基準2020年版」に基づく栄養管理の実施及び特定給食施設における課題改善のための研修会の開催。 | ・ 「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 ・ 「食事摂取基準2020年版」に基づく栄養管理の実施及び特定給食施設における課題改善のための研修会の開催。 | (参考) I-7～9 |
| | (4) 特定給食施設等への指導 | 健康国保課 | 5 | 特定給食施設への立入検査・指導を実施 | ・ 「食事摂取基準」に基づく栄養管理の徹底の観点から全保健所で実施した。 | ・ 「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 | (参考) I-7～9 |
| | | 健康国保課 | 6 | 給食担当者の資質向上のための研修会の開催 | ・ 特定給食施設における栄養管理の課題改善のための研修を全保健所で実施した。 | ・ 「食事摂取基準2020年版」に基づく栄養管理の実施及び特定給食施設における課題改善のための研修会の開催。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|------------------|----------|----|--------------------------------|---|--|--------------------------------|
| 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成 | (1) 学校における食育の推進 | 保健体育課 | 7 | 食育担当者等を対象とした研修会の開催 | ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 若手県公会堂 81名) | ・食育推進研修会の開催 (7/31 若手県公会堂) →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の実践事例を紹介する等により、学校における食育の推進を支援する。 | (主要) I-1、2 (参考) I-4、5 |
| | | 保健体育課 | 8 | 学校における食育教材の活用促進 | ・初任者研修 (栄養教諭) 等において、食育教材を活用した指導方法を普及した。 (4/24 初任者研修 2名、7/26 食育推進研修会 81名) | ・初任者研修 (栄養教諭) 等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 | |
| | | 保健体育課 | 9 | 食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置 | ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 若手県公会堂 81名) | ・食育推進研修会の開催 (7/31 若手県公会堂) →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の在り方について取り上げる、全体計画例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 | |
| | | 生涯学習文化財課 | 10 | 早寝早起き朝ごはん運動の推進 | ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行った。 | ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行う。 | |
| | | 学事振興課 | 11 | 食に関わる教育活動への支援 | ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。 | ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援する。 | |
| | (2) 肥満予防のための取組支援 | 保健体育課 | 12 | 教諭、養護教諭、栄養教諭等を対象とした研究大会や研修会の開催 | ・小中高等を対象とした東北学校保健大会を開催した。 (東北学校保健大会が本県開催のため、若手県学校健康教育研究大会と兼ねて開催した。7/30～7/31 盛岡市民文化ホール・若手県民情報センター・盛岡地域交流センター) ・研修会等において、「本県の学校における食育の重要な視点」及び「カミミ運動」の周知を図った。 (4/22 初任者研修 (栄養教諭2名)、6/21栄養教諭等研修会、7/26食育推進研修会) ・軽度肥満児童対象の個別相談指導資料及び保護者対象の望ましい食習慣啓発資料の周知等により、各学校における取組を支援した。 | ・小中高等を対象とした、若手県学校健康教育研究大会を開催 (12/15 若手県民情報センター) ・研修会等において、「本県の学校における食育の重要な視点」及び「カミミ運動」の周知を図る。 (初任者研修・2名、栄養教諭等研修会・130名等) ・軽度肥満児童対象の個別相談指導資料及び保護者対象の望ましい食習慣啓発資料の周知等により、各学校における取組を支援する。 (初任者研修・2名、栄養教諭等研修会・130名等) | (主要) I-2 (参考) I-5 |
| | | 保健体育課 | 13 | 体力向上担当者等を対象とした研修会の開催 | ・「希望郷いわて元気・体カアップ60運動」を周知した。 ・子供の運動習慣アップ支援事業を実施した。 (実践園 3園) ・地区別体力向上課題対策会議を県内6地区で開催した。 | ・「希望郷いわて元気・体カアップ60運動」の周知 ・子供の運動習慣アップ支援事業の実施。 ※子供の運動習慣アップ支援事業 (スポーツ庁委託事業) については廃止 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|---------------------------|----------|----|----------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成 | (3) 地域との連携による推進 | 保健体育課 | 14 | 地域と連携して取組んだ事例の周知 | ・小中高等を対象とした、東北学校保健大会を開催した。(東北学校保健大会が本県開催のため、岩手県学校健康教育研究大会と兼ねて開催した。7/30～7/31 盛岡市民文化ホール・岩手県民情報センター・盛岡地域交流センター食に関する指導分科会54名) ・初任者研修(栄養教諭)等において、食育だより等を交換した。 (4/24、8/30、1/10 の計3回) | ・小中高等を対象とした、岩手県学校健康教育研究大会の開催 (12/15 岩手県民情報センター) | (主要) I-1、2 (参考) I-4～6 |
| | (4) 「食育だより」などを通じた家庭への働きかけ | 保健体育課 | 15 | 食育だより等による家庭への情報提供の推進 | | ・初任者研修(栄養教諭)等において、食育だより等を交換する。 | (主要) I-1、2 (参考) I-4、5 |
| | (5) 教育振興運動の展開 | 生涯学習文化財課 | 16 | 子ども・家庭・学校・地域・行政の5者連携による教育振興運動の展開 | ・市町村担当者研修会(5/15参加者62名)、6教育事務所での推進研修会(合計6回、参加者950名)、55周年集約大会(1/15参加者335名) ・県内501実践区中186実践区で食育推進活動が実施された。 | ・教育振興運動推進に係る研修会を通じ、啓発を行う。 ※全県1回(7/8)、各教育事務所管内(地域の実態に応じて) | (参考) I-6 |
| | (6) 口腔の健康づくりの推進 | 健康国保課 | 17 | 口腔の健康づくりの推進 | ・児童、生徒、保護者及び教職員に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発した。 ＜岩手県口腔保健支援センター＞ ・学齢期のフッ化物応用強化 保健所担当者会の開催 行政歯科保健担当者研修会の開催 ・イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展(6/2)、岩手県いい歯の日のつどいin釜石の開(11/10)、イー歯トープ8020表彰式の開催(11/30) (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準」に基づく栄養管理の徹底の視点から全保健所で実施した。 | ・児童、生徒、保護者及び教職員に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。 ＜岩手県口腔保健支援センター＞ ・学齢期のフッ化物応用強化 保健所担当者会の開催 行政歯科保健担当者研修会の開催 ・イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展(12月予定)、岩手県いい歯の日のつどいin二戸の開催(11/8)、イー歯トープ8020表彰式の開催(12月予定) (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 | (参考) I-1～3 |
| | (7) 特定給食施設への指導(再掲) | 健康国保課 | 18 | 特定給食施設への立入検査・指導を実施 | (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準」に基づく栄養管理の徹底の視点から全保健所で実施した。 | | (参考) I-7～9 |
| | | 健康国保課 | 19 | 給食担当者の資質向上のための研修会の開催 | (再掲 I-1-(4)) ・特定給食施設における栄養管理の課題改善のための研修を全保健所で実施した。 | (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準2020年版」に基づく栄養管理の実施及び特定給食施設における課題改善のための研修会の開催。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|------------------|----------|----|--------------------------------|---|---|--------------------------------|
| 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成 | (1) 学校における食育の推進 | 保健体育課 | 7 | 食育担当者等を対象とした研修会の開催 | ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 若手県公会堂 81名) | ・食育推進研修会の開催 (7/31 若手県公会堂) →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の実践事例を紹介する等により、学校における食育の推進を支援する。 | (主要) I-1、2 (参考) I-4、5 |
| | | 保健体育課 | 8 | 学校における食育教材の活用促進 | ・初任者研修 (栄養教諭) 等において、食育教材を活用した指導方法を普及した。 (4/24 初任者研修 2名、7/26 食育推進研修会 81名) | ・初任者研修 (栄養教諭) 等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 | |
| | | 保健体育課 | 9 | 食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置 | ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 若手県公会堂 81名) | ・食育推進研修会の開催 (7/31 若手県公会堂) →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の在り方について取り上げる、全体計画例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 | |
| | | 生涯学習文化財課 | 10 | 早寝早起き朝ごはん運動の推進 | ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行った。 | ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行う。 | |
| | | 学事振興課 | 11 | 食に関わる教育活動への支援 | ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。 | ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援する。 | |
| | (2) 肥満予防のための取組支援 | 保健体育課 | 12 | 教諭、養護教諭、栄養教諭等を対象とした研究大会や研修会の開催 | ・小中高等を対象とした東北学校保健大会を開催した。 (東北学校保健大会が本県開催のため、若手県学校健康教育研究大会と兼ねて開催した。7/30～7/31 盛岡市民文化ホール・若手県民情報センター・盛岡地域交流センター) ・研修会等において、「本県の学校における食育の重要な視点」及び「カミミ運動」の周知を図った。 (4/22 初任者研修 (栄養教諭2名)、6/21栄養教諭等研修会、7/26食育推進研修会) ・軽度肥満児童対象の個別相談指導資料及び保護者対象の望ましい食習慣啓発資料の周知等により、各学校における取組を支援した。 | ・小中高等を対象とした、若手県学校健康教育研究大会開催 (12/15 若手県民情報センター) ・研修会等において、「本県の学校における食育の重要な視点」及び「カミミ運動」の周知を図る。 (初任者研修・2名、栄養教諭等研修会・130名等) ・軽度肥満児童対象の個別相談指導資料及び保護者対象の望ましい食習慣啓発資料の周知等により、各学校における取組を支援する。 (初任者研修・2名、栄養教諭等研修会・130名等) | (主要) I-2 (参考) I-5 |
| | | 保健体育課 | 13 | 体力向上担当者等を対象とした研修会の開催 | ・「希望郷いわて元気・体カアップ60運動」を周知した。 ・子供の運動習慣アップ支援事業を実施した。 (実践園 3園) ・地区別体力向上課題対策会議を県内6地区で開催した。 | ・「希望郷いわて元気・体カアップ60運動」の周知 ・子供の運動習慣アップ支援事業の実施。 ※子供の運動習慣アップ支援事業 (スポーツ庁委託事業) については廃止 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|---------------------------|----------|----|----------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成 | (3) 地域との連携による推進 | 保健体育課 | 14 | 地域と連携して取組んだ事例の周知 | ・小中高等を対象とした、東北学校保健大会を開催した。(東北学校保健大会が本県開催のため、岩手県学校健康教育研究大会と兼ねて開催した。7/30～7/31 盛岡市民文化ホール・岩手県民情報センター・盛岡地域交流センター食に関する指導分科会54名) ・初任者研修(栄養教諭)等において、食育だより等を交換した。 (4/24、8/30、1/10 の計3回) | ・小中高等を対象とした、岩手県学校健康教育研究大会の開催 (12/15 岩手県民情報センター) | (主要) I-1、2 (参考) I-4～6 |
| | (4) 「食育だより」などを通じた家庭への働きかけ | 保健体育課 | 15 | 食育だより等による家庭への情報提供の推進 | | ・初任者研修(栄養教諭)等において、食育だより等を交換する。 | (主要) I-1、2 (参考) I-4、5 |
| | (5) 教育振興運動の展開 | 生涯学習文化財課 | 16 | 子ども・家庭・学校・地域・行政の5者連携による教育振興運動の展開 | ・市町村担当者研修会(5/15参加者62名)、6教育事務所での推進研修会(合計6回、参加者950名)、55周年集約大会(1/15参加者335名) ・県内501実践区中186実践区で食育推進活動が実施された。 | ・教育振興運動推進に係る研修会を通じ、啓発を行う。 ※全県1回(7/8)、各教育事務所管内(地域の実態に応じて) | (参考) I-6 |
| | (6) 口腔の健康づくりの推進 | 健康国保課 | 17 | 口腔の健康づくりの推進 | ・児童、生徒、保護者及び教職員に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発した。 ＜岩手県口腔保健支援センター＞ ・学齢期のフッ化物応用強化 保健所担当者会の開催 行政歯科保健担当者研修会の開催 ・イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展(6/2)、岩手県いい歯の日のつどいin釜石の開(11/10)、イー歯トープ8020表彰式の開催(11/30) (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準」に基づく栄養管理の徹底の視点から全保健所で実施した。 | ・児童、生徒、保護者及び教職員に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。 ＜岩手県口腔保健支援センター＞ ・学齢期のフッ化物応用強化 保健所担当者会の開催 行政歯科保健担当者研修会の開催 ・イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展(12月予定)、岩手県いい歯の日のつどいin二戸の開催(11/8)、イー歯トープ8020表彰式の開催(12月予定) (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 | (参考) I-1～3 |
| | (7) 特定給食施設への指導(再掲) | 健康国保課 | 18 | 特定給食施設への立入検査・指導を実施 | (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準」に基づく栄養管理の徹底の視点から全保健所で実施した。 | | (参考) I-7～9 |
| | | 健康国保課 | 19 | 給食担当者の資質向上のための研修会の開催 | (再掲 I-1-(4)) ・特定給食施設における栄養管理の課題改善のための研修を全保健所で実施した。 | (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準2020年版」に基づく栄養管理の実施及び特定給食施設における課題改善のための研修会の開催。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------|------------------------------------|-------|----|---|---|--|----------------|
| 3 生涯にわたる健全な食習慣の形成 | (1) 食事バランスガイドの普及 | 健康国保課 | 20 | 食事バランスガイドの普及推進 | ・地域における「健康的な食事推進マスター」を養成した。 (管理栄養士、保健師等対象：R1養成者数106名 H30～延べ養成者数：205名) | ・これまで実施していた事業内容の充実を図るとともに、地域における「健康的な食事推進マスター」を養成し取組体制の充実を図る。 ・「健康的な食事」の地域普及予定 | (参考) I-7～10 |
| | | 流通課 | 21 | 県版食事バランスガイドの利用と普及 | ・ホームページ等による普及啓発に努めた。 | ・引き続き、ホームページ等による普及啓発に努めるとともに、学校給食等を通じて、周知を図る。 | (参考) I-7～10 |
| | (2) 食生活改善ツール等の活用及び普及 | 健康国保課 | 22 | わかりやすい教材の作成・普及 | ・引き続き、住民にわかりやすい教材の作成や普及を図る。 | ・引き続き、住民にわかりやすい教材の作成や普及を図る。 | (参考) I-7～10 |
| | (3) 健康づくりボランティア等の育成・活動支援のための研修等の実施 | 健康国保課 | 23 | 地域で健康づくり活動を行うボランティアの研修会等の開催 | ・各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行った。 | ・引き続き、各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行う。 ・「健康的な食事推進マスター」を講師としたリーダー研修会の開催 (9保健所) | (参考) I-7～10 |
| | (4) 栄養・健康づくり関係者の資質向上のための研修等の実施 | 健康国保課 | 24 | 市町村栄養士や健康運動指導士等を対象とした食生活改善・運動指導者の研修会の開催 | ・行政栄養士研修会及び健康運動指導者研修会を開催した。 (行政栄養士研修会：新人研修2回、行政栄養士研修1回 健康運動指導者研修会：1回) | ・行政栄養士研修会及び健康運動指導者研修会を開催する。 | (参考) I-7～10 |
| | (5) 地域の食生活習慣実態の調査の実施 | 健康国保課 | 25 | 幼児、児童生徒、成人等の食生活習慣に関する実態調査の実施と県民への情報提供 | ・「いわて健康データウェアハウス」の内容充実と県民の健康課題等のわかりやすい情報還元を進める。 ・「見える化」を視点とした健康情報の提供。 | ・「いわて健康データウェアハウス」の内容充実と県民の健康課題等のわかりやすい情報還元を進める。 ・「見える化」を視点とした健康情報の提供。 | |
| | (6) 飲食店等の栄養成分表示等の促進 | 健康国保課 | 26 | 飲食店等における栄養成分表示等の促進 | ・店舗数増加の取組。 今年度13店舗追加 (1月末現在) | ・店舗数増加に向けた働きかけを強化する。 | (参考) I-10 |
| | (7) 口腔の健康づくりの推進 | 健康国保課 | 27 | 口腔の健康づくりの推進 | ・すべての年齢層の地域住民に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。 <岩手県口腔保健支援センター> ・イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展 (6/2)、岩手県いい歯の日のつどいin釜石の開催 (11/10)、イー歯トゥープロ8020表彰式の開催 (11/30) ・災害時歯科保健活動マニュアルの策定予定 (再掲 I-1-(4)) | ・すべての年齢層の地域住民に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育、イベント等により啓発する。 <岩手県口腔保健支援センター> ・イベント 8020健康フェスタへのコーナー出展 (12月予定)、岩手県いい歯の日のつどいin二戸の開催 (11/8)、イー歯トゥープロ8020表彰式の開催 (12月予定) ・災害時歯科保健活動マニュアル概要版の策定予定。 (再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 (再掲 I-1-(4)) | (参考) I-1～3 |
| | (8) 特定給食施設への指導 (再掲) | 健康国保課 | 28 | 特定給食施設への立入検査・指導を実施 | ・「食事摂取基準」に基づく栄養管理の徹底の視点から全保健所で実施した。 (再掲 I-1-(4)) | ・「食事摂取基準2020年版」に基づく新たな視点での栄養管理の徹底を図る。 (再掲 I-1-(4)) | (参考) I-7～9 |
| | | 健康国保課 | 29 | 給食担当者の資質向上のための研修会の開催 | ・特定給食施設における栄養管理の課題改善のための研修を全保健所で実施した。 (再掲 I-1-(4)) | ・「食事摂取基準2020年版」に基づく栄養管理の実施及び特定給食施設における課題改善のための研修会の開催。継続 | |

Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------|----|--------------------------|---|--|-------------|
| 1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進 | (1) 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施 | 県民くらしの安全課 | 30 | リスクコミュニケーションの実施 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・劇場型リスクコミュニケーション ①ノロウイルスによる食中毒・感染症対策を考えるシンポジウム (11/25、110人) ②事業者向け食品表示法講習会 (1/20、220人) ・リスクコミュニケーション講師育成講座 (1/25、職員10名) ・講座型リスクコミュニケーション (食の安全安心を考える講座) ①食中毒 (12/20、30名) ②食品安全 (1/25、40名) | (食の安全安心推進計画のとおり) ・食中毒、残留農薬及び健康食品等をテーマに4回 (うち、対話を重視した20～30人程度の講座を3回) 開催する。 (参考) Ⅱ-1 | |
| | (2) 食の安全安心に関する出前講座等の実施 | 県民くらしの安全課 | 31 | 出前講座の開催や講師派遣の実施 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・152回実施。 (テーマ：食中毒、食品表示、HACCP等) | (食の安全安心推進計画のとおり) ・引き続き広く県民に周知を行い、食品の安全性確保に関する理解の促進等のため、出前講座の実施に取り組む。 (食の安全安心推進計画のとおり) | (主要) Ⅱ-1 |
| | (3) 食品の安全性等に関する情報の提供 | 関係課 (流通課) | 32 | 広報等を活用した食品の安全性等に関する情報の提供 | (食の安全安心推進計画のとおり) 【流通課】 ・食品に関するトレーサビリティ制度について、ホームページ等で周知した。 | 【流通課】 ・制度について、ホームページ等で引き続き周知を図る。 ・外食事業者、食品加工事業者等を対象に、制度に関する資料の配布により、普及・定着を図る。 ・国と連携し、食品事業者等を対象に必要に応じて指導を行う。 | |
| | | 関係課 (県民くらしの安全課) | | | (食の安全安心推進計画のとおり) 【県民くらしの安全課】 ・食の安全安心DVD等による情報発信。 ・事業者向けに、食品表示法の移行期間終了の注意喚起に係るリーフレットを配布。 | (食の安全安心推進計画のとおり) 【県民くらしの安全課】 ・食の安全安心DVD等による情報発信 ・食品表示基準等について県民等の研修会を保健所等で実施予定。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|------------------------|-----------|----|--|---|---|------|
| 1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進 | (4) 災害発生に对应した食の安全安心の確保 | 総合防災室 | 33 | 災害に備えた食料の備蓄 | 【総合防災室】 ・岩手県災害備蓄指針に基づき、計画的な備蓄を実施するとともに県民や事業所へ備蓄を進めるための広報（ホームページなど）を実施した。 | 【総合防災室】 ・岩手県災害備蓄指針に基づき、計画的な備蓄を実施するとともに県民や事業所へ備蓄を進めるための広報（ホームページなど）を実施する。 | |
| | | 県民くらしの安全課 | | 災害発生時食品衛生マニュアル等の整備 | 【県民くらしの安全課】 ・災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組むとともに、必要に応じて災害発生時食品衛生マニュアルの見直しを実施する。 | 【県民くらしの安全課】 ・災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組むとともに、必要に応じて災害発生時食品衛生マニュアルの見直しを実施する。 | |
| | | 健康国保課 | | 仮設住宅に入居する被災者を対象とした栄養生活指導のための管理栄養士等派遣避難所等での健康相談や栄養指導の実施 | 【健康国保課】 ・岩手県栄養士会と連携した研修会の開催。 ・被災地における栄養・食生活支援に係る栄養士等派遣の実施。 | 【健康国保課】 ・岩手県栄養士会と連携した研修会の開催。 ・被災地における栄養・食生活支援に係る栄養士等派遣の実施。 | |
| | | 保健体育課 | 34 | 食育担当者等を対象とした研修会の開催 | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 岩手県公会堂 81名) | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会の開催 (7/31 岩手県公会堂) →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の実践事例を紹介する等により、学校における食育の推進を支援する。 | |
| | | 保健体育課 | 35 | 学校における食育教材の活用促進 | (再掲 I-2-(1)) ・初任者研修（栄養教諭）等において、食育教材を活用した指導方法を普及した。 (4/24 初任者研修 2名、7/26 食育推進研修会 81名) | (再掲 I-2-(1)) ・初任者研修（栄養教諭）等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 | |
| | (5) 学校における食育の推進 (再掲) | 保健体育課 | 36 | 食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置 | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 岩手県公会堂 81名) | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会の開催 (7/31 岩手県公会堂) →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の在り方について取り上げる、全体計画例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 | |
| | | 生涯学習文化財課 | 37 | 早寝早起き朝ごはん運動の推進 | (再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行った。 | (再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行う。 | |
| | | 学事振興課 | 38 | 食に関わる教育活動への支援 | (再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。 | (再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-----------------------|----------------------------------|-----------|----|--|---|--|------|
| 2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進 | (1) 食品に関するトレーサビリティ制度の普及 | 流通課 | 39 | 食品に関するトレーサビリティ制度の普及推進 | ・ 制度について、ホームページ等で周知した。 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 制度について、ホームページ等で引き続き周知を図る。 ・ 国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を行う。 | |
| | (2) 食品表示に関する店舗への指導 | 県民くらしの安全課 | 40 | 店舗に対する食品表示の指導の実施 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 県内の事業者店舗について、表示点検を実施。 ・ 加工食品の原料原産地表示の義務化について周知を図った。 ・ 事業者向けに、食品表示法の移行期間終了の注意喚起に係るリーフレットを配布。 ・ 新法移行に係る留意点等の食品表示法講習会を実施。 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 県内の事業者店舗について、表示点検を実施予定。 ・ 加工食品の原料原産地表示の義務化について周知を図る。 ・ 新法完全移行の初年度でもあるため、周知や適切な指導に努める | |
| | | 県民くらしの安全課 | 41 | 食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 令和2年度についても、監視時において適正な表示制度の普及に努める。 | |
| | (3) 食品表示ウォッチャーの委嘱と活動の充実 | 県民くらしの安全課 | 42 | 食品表示ウォッチャーの委嘱と研修会の開催 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 令和元年5月20日から令和2年3月31日までの委嘱期間で26名に委嘱。 ・ 報告件数224件。 ・ 第1回研修会：令和元年5月20日開催 ・ 第2回研修会：令和2年1月20日開催 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 令和2年5月から令和3年3月31日までの委嘱期間で32名に委嘱。 ・ 第1回研修会：新型コロナウイルス対策のため、実施見送り ・ 第2回研修会：9月頃開催予定。 | |
| | (4) 食品の適正表示を推進する者の養成 | 県民くらしの安全課 | 43 | 食品の適正表示を推進する者の養成講習会への講師派遣 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣 1回(12月2日) | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣 1回 | |
| | (5) 食品表示に関する相談の実施 | 県民くらしの安全課 | 44 | 食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 食品表示専門員1名を配置した。 ・ 食品表示110番受理件数6件 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 食品表示110番の開設 ・ 引き続き専門員を配置し、適切な対応や指導に努める | |
| | (6) 自主回収報告制度の適正な運用による県民への迅速な情報提供 | 県民くらしの安全課 | 45 | 本県事業者の自主回収報告制度による迅速かつ適切な回収と自主回収情報の県民への提供 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 自主回収着手報告件数10件について、管轄保健所において適切な指導を行ったほか、県民くらしの安全課において速やかにホームページに掲載した。 | (食の安全安心推進計画のとおり) ・ 自主回収案件が発生した際は、管轄保健所において適切な指導を行い、自主回収着手報告があった際には、県民くらしの安全課において速やかにホームページに掲載する。 | |

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------------|-------------------------------|---------|----|--|--|---|------------------------------|
| 1 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進 | (1) 学校等における農林漁業体験学習の支援 | 農林水産企画室 | 46 | 学校等における農林漁業体験学習の支援 | ・農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 (132件、25,304人) | ・農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 (計画件数約110件、計画人数約23,000人)。 | (主要) Ⅲ-1 (参考) Ⅲ-1 |
| | (2) 酪農体験等の学習支援 | 流通課 | 47 | 酪農体験等の学習の場の提供 | ・「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施した(14の小学校で実施し、413名が参加)。 | ・引き続き、「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施予定。 | (主要) Ⅲ-1 |
| | (3) 生産者と消費者の結び付きを深めた地産地消取組の支援 | 流通課 | 48 | ・地域における生産者や加工業者等で構成する組織づくりの支援 ・地産地消促進計画策定推進と地産地消の取組支援 | ・食のプロフェッショナルチームアドバイザーの派遣等により、産直施設等(4施設)の運営強化の取組や生産者、食品事業者との連携を支援した。 ・小売事業者が参画したいわて6次産業化推進協議会の協力を得て、消費者ニーズを反映した新商品開発を推進した(陸前高田の牡蠣及びリンゴを使用した「お米スナック」)。 ・地産地消促進計画未策定の市町村(2か所)を訪問し、策定を働きかけた。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」及び「いわて地産地消弁当」の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し、地産地消情報を発信した。 | ・食のプロフェッショナルチームアドバイザーの派遣等により、産直施設等の運営強化の取組や生産者、食品事業者との連携を支援する。 ・県内各市町村に対して、地産地消促進計画の早期策定を働きかける。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」及び「いわて地産地消弁当」の追加認定を行う。 ・上記認定制度やホームページ等を活用し、地産地消情報を発信する。 ・学校栄養教諭等に対する研修を実施する。 | (主要) Ⅲ-1 (参考) Ⅲ-2、3 |
| | (4) 「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進 | 県産米戦略室 | 49 | ホームページやSNS等を活用した米産地情報発信 | ・ホームページやSNS等を活用し、水稲の生育状況や産地の風景など、米産地の情報を広く発信した。 【情報発信回数】 (Facebook: 215回、いわて純情米HP: 33回) ・タウン誌acuteと連携し、おにぎりを活用した県産米の情報を発信した。 (2/28 3月号、3/28 盛岡生活便利帳2020年版、4月号) ・高校生調理・製菓コンテスト「チョリコン」の開催を支援した。 (8/3 決勝・表彰式、応募作品数: 52点、主催: 北日本八イデクニカルクッキングカレッジ、㈱岩手朝日テレビ) | ・ホームページやSNS等を活用し、水稲の生育状況や産地の風景など、米産地の情報を広く発信する。 ・産地情報をタイムリーに発信するため、生産者が積極的に情報発信できる仕組みを検討する。 ・引き続き生産者主体の情報発信等に取り組む。 | (主要) Ⅲ-1 (参考) Ⅲ-2、3 |
| | (1) 食の匠の活動支援 | 農業普及技術課 | 50 | 食の匠の技の次世代への継承と岩手の食の魅力の情報発信強化 | ・食の匠として4名を新規認定した。(認定総数277) ・伝承会やイベント等を開催した。(延べ30回開催) ・HP等を活用して情報を発信した。(26回) | ・岩手県食の匠の新規認定 ・一般の方などを対象とした伝承会やイベント等の開催 ・HP等を活用した情報発信 ・食文化の記録・保存を目的とした動画撮影を実施 | (参考) Ⅲ-4 |
| 2 食文化や食生活の継承 | (2) 食生活改善推進員等の活動支援 | 健康国保課 | 51 | 食生活改善ボランティア等による健康的な食習慣や食文化等の普及啓発活動への支援 | (再掲Ⅰ-3-(3)) ・各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行った。 | ・引き続き、各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行う。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|--------------|----------------------|----------|----|------------------------------|--|---|---------------|
| 2 食文化や食生活の継承 | (3) 学校給食への郷土料理の活用 | 保健体育課 | 52 | 栄養教諭等を対象とした研修会において、郷土料理活用推進 | ・初任者研修（栄養教諭）において、学校給食に郷土料理を取入れた場合の教育的効果について取り上げた。（4/24 2名） ・食育普及啓発キャラバン、エコロルによる保育園等訪問事業及びイベント出演等の機会を通じて3 Rに係る普及啓発を行った。（エコロル活動実績32回（R2.3現在）） ・「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」（R1.12～R2.1）及び「もったいない・いわて☆食べきり協力店」（139店舗登録（R2.3現在））の取組を通じて、事業者と連携しながら食品ロスの削減に取り組む。 | ・初任者研修（栄養教諭）において、学校給食に郷土料理を取入れた場合の教育的効果について取り上げる。（2名） ・エコロルによる保育園等訪問事業やホームページ等による啓発を通じて3 Rに係る普及啓発を行う。 ・「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」及び「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の取組を通じて、事業者と連携しながら食品ロスの削減に取り組む。 ・食品ロス削減をecoマナーの一つとして位置付けて、「いわて三ツ星ecoマナーアクション」を展開 | |
| | (4) 環境に配慮した食生活の推進 | 資源循環推進課 | 53 | 3 R 推進キャラクターエコロルを活用した普及啓発の実施 | | | (参考) Ⅲ-5 |
| | | 保健体育課 | 54 | 食育担当者等を対象とした研修会の開催 | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 岩手県公会堂 81名) | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会の開催 (7/31 岩手県公会堂) →新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の実践事例を紹介する等により、学校における食育の推進を支援する。 | (参考) Ⅲ-2、3 |
| | | 保健体育課 | 55 | 学校における食育教材の活用促進 | (再掲 I-2-(1)) ・初任者研修（栄養教諭）等において、食育教材を活用した指導方法を普及した。 (4/24 初任者研修 2名、7/26 食育推進研修会 81名) | (再掲 I-2-(1)) ・初任者研修（栄養教諭）等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図る。 | |
| | (5) 学校における食育の推進 (再掲) | 保健体育課 | 56 | 食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置 | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会を開催した。 (7/26 岩手県公会堂 81名) | (再掲 I-2-(1)) ・食育推進研修会の開催 (7/31 岩手県公会堂) →新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・研修会等で食に関する指導の在り方について取り上げる、全体計画例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。 | |
| | | 生涯学習文化財課 | 57 | 早寝早起き朝ごはん運動の推進 | (再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行った。 | (再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行う。 | |
| | | 学事振興課 | 58 | 食に関わる教育活動への支援 | (再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。 | (再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|--------------|------------------------------------|----------|----|-------------------------|---|--|------------------------------|
| 2 食文化や食生活の継承 | (6)「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進 (再掲) | 県産米戦略推進室 | 59 | ホームページやSNS等を活用した産地情報の発信 | (再掲 Ⅲ-1-(4)) ・ホームページやSNS等を活用し、水稲の生育状況や産地の風景など、米産地の情報を広く発信した。 【情報発信回数】 (Facebook：215回、いわて純情米HP：33回) ・タウン誌acuteと連携し、おにぎりを活用した県産米の情報を発信した。 (2/28 3月号、3/28 盛岡生活便利帳2020年版、4月号) ・高校生調理・製菓コンテスト「チョリコン」の開催を支援した。 (8/3 決勝・表彰式、応募作品数：52点、主催：北日本ハイトیکنカルクッキングカレッジ、㈱岩手朝日テレビ) | (再掲 Ⅲ-1-(4)) ・ホームページやSNS等を活用し、水稲の生育状況や産地の風景など、米産地の情報を広く発信する。 ・産地情報をタイムリーに発信するため、生産者が積極的に情報発信できる仕組みを検討する。 ・引き続き生産者主体の情報発信等に取り組む。 | (主要) Ⅲ-1 (参考) Ⅲ-2、3 |

IV 地域に根ざした食育の推進

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------|--------------------|-----------|----|--|--|--|--------------------------------|
| 1 食育推進運動の展開 | (1) 食育月間等における食育の普及 | 県民くらしの安全課 | 60 | 食育月間、食育の日における食育の普及啓発 | ・6月の食育月間に合わせて県内の保育所等に食育普及啓発キャラバンを実施。(岩手町、田野畑村、普代村、宮古市、野田村) ・マスコミを活用した情報発信、食育関係機関への食育月間及び食育の日の取組についての周知、ノボリの掲示などを行い、食育の普及を図った。 | ・6月の食育月間に合わせて県内の保育所等に食育普及啓発キャラバンを実施する。※R2は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み中止 ・マスコミを活用した情報発信、食育関係機関への食育月間及び食育の日の取組についての周知、ノボリの掲示などを行い、食育の普及を図る。 ・第16回食育推進全国大会への機運醸成を図る。 | (主要) IV-1 (参考) IV-1、2 |
| | | 県民くらしの安全課 | 61 | 食育推進県民大会の開催 | ・11月30日にいわて県民情報交流センター(小田島組☆ほーる)にて開催。基調講演「楽しく食べて、元気な子どもに！～県民が支える食育活動～」 (講師：青森県立保健大学理事・教授 吉池信男氏) | ・11月29日にいわて県民情報交流センター(小田島組☆ほーる、調理室等)にて開催予定。 | |
| | | 健康国保課 | 62 | 「いわて減塩・適塩の日」キャンペーンや健康づくり教室等を通じた食育の普及啓発 | ・「いわて減塩・適塩の日」を中心とした啓発を行うとともに、管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象とした「健康的な食事推進マスター」の養成により、地域における取組体制の充実を図った。 | ・引き続き、「いわて減塩・適塩の日」を中心とした啓発を行うとともに、管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象とした「健康的な食事推進マスター」の養成により、地域における取組体制の充実を図る。 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------|--------------------|-----------|----|--|--|---|------|
| 1 食育推進運動の展開 | (1) 食育月間等における食育の普及 | 若者女性協働推進室 | 63 | 「いわて家庭の日」における食育の普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて家庭の日」は、青少年の健やかな成長のために家庭の果たす役割を認識し、家庭の大切さを呼びかけ、家族・親子のふれあいを深めるきっかけとする日として、(公社) 岩手県青少年育成県民会議(以下、「県民会議」)が提唱する県民運動。この中で、「家族そろって食事をする日」や「早寝早起き朝ごはん」などを呼びかけた。 ・県民会議が毎月発行する「いわて家庭の日」のチラシを県民室に配架するとともに、県民会議のホームページや「まなびネットいわて」に公開。また、各市町村の青少年行政担当部局にもチラシを送付し、各種イベント・祭り等での配布や各自治体等への配布、掲示などを呼びかけた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて家庭の日」県民運動において、「家族そろって食事をする日」や「早寝早起き朝ごはん」を呼びかける。 ・県民会議が毎月発行する「いわて家庭の日」のチラシを県民室に配架するとともに、県民会議のホームページや「まなびネットいわて」に公開。また、各市町村の青少年行政担当部局にもチラシを送付し、各種イベント・祭り等での配布や各自治体等への配布、掲示などを呼びかける。 | |
| | | 流通課 | 64 | 県産食材を活用した食育の普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて牛・いわて短角牛学校給食の日」の実施を支援した(11/29)。 ・「酪農出前教室」を実施した。(No.47再掲) | <ul style="list-style-type: none"> ・県内の小中学校等の学校給食に県産食材を提供するとともに、こうした機会を通じ、生産者等を講師とした出前講座による食育活動を実施する。 ・「酪農出前教室」を実施する(No.47再掲)。 | |
| | | 県産米戦略室 | 65 | 「ごはん食」の啓発を図るための副教材(マンガ)を制作・配付 対象：県内小学5年生約11,000人 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ごはん食」の啓発を図るための副教材(マンガ)をWEBページで公開した。 (いわての美味しいお米サポーターWEB) http://www.iwate-gohan.com/manga/index.html (「金色の風」開発物語) http://www.iwate-kome.jp/konjiki/index.html | <ul style="list-style-type: none"> ・「ごはん食」の啓発を図るための副教材(マンガ)のWEBページでの公開(ダウンロード可) http://www.iwate-gohan.com/manga/index.html | |
| | | 県産米戦略室 | 66 | 【H29】児童・園児を対象とした食育活動「いわて純情米おにぎり教室」の開発支援 【H30】県内の若者を対象とした食育推進 ※実施主体：いわて純情米需要拡大推進協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・父親と子どもを対象とした「キッズとパパのクッキング教室」の開発を支援した。 (2/28 盛岡市、主催：(株)純情米いわて) ・県内小・中学生を対象とした「「ごはん・お米とわたし」作文・図画岩手県コンクール」の開発を支援した。 (1/29 表彰式、主催：県内J A、県J A中央会、応募数：作文78点、図画187点) | <ul style="list-style-type: none"> ・父親と子どもを対象とした「キッズとパパのクッキング教室」の開発を支援する。 ・県内小・中学生を対象とした「「ごはん・お米とわたし」作文図画コンクール」の開発を支援する。 | |
| | (2) 食育を推進する基盤整備の支援 | 県民くらしの安全課 | 67 | 岩手県食育推進ネットワーク会議と関係機関との連携の仕組みの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて食育応援団」認証制度の活用と企業等との連携を実施。 (岩手県食育推進県民大会におけるパネル展示等) | <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて食育応援団」認証制度の活用と企業等との連携を実施。 ・第16回食育推進全国大会を見据えた連携の実施 | |

| 施策 | 取組項目 | 担当課等 | NO | 取組内容 | R1の取組 | R2計画 | 関連指標 |
|-------------------|---------------------|-----------|----|-------------------------------------|---|---|------------------------------|
| 1 食育推進運動の展開 | (3) 食育推進貢献者等の表彰の実施 | 県民くらしの安全課 | 68 | 食育推進活動に取り組んでいる個人又は団体の表彰の実施 | ・食育貢献者表彰の実施。 募集期間：6月1日から9月19日 11月30日岩手県食育推進県民大会で表彰した。 | ・食育貢献者表彰の実施。 募集期間：6月1日から9月中旬を予定 11月29日岩手県食育推進県民大会で表彰予定 ・第16回食育推進全国大会を見据えた内容で実施 | (参考) IV-1 |
| | (4) 食育に関する広報活動の推進 | 県民くらしの安全課 | 69 | 食育推進ネットワーク会議構成団体と連携した食育に関するコンクールの実施 | ・食育標語コンクール及び食育推進図画・ポスターコンクールの実施。テーマ「朝ごはん食べよう」 募集期間：6月1日から9月19日（ポスターは9月30日） 11月30日 岩手県食育推進県民大会で表彰した。 | ・食育標語コンクール及び食育推進図画・ポスターコンクールの実施。テーマ「私の好きな岩手の食べもの」 募集期間：6月1日から9月中旬（ポスターは9月下旬）を予定 11月29日 岩手県食育推進県民大会で表彰予定 ・第16回食育推進全国大会を見据えた内容で実施 | (主要) IV-1 (参考) IV-1 |
| 2 市町村や地域における食育の推進 | | 県民くらしの安全課 | 70 | 市町村食育業務担当職員研修会の開催等による市町村食育推進計画策定支援 | ・市町村食育業務担当職員研修会の開催等により、市町村の計画改定等を支援した。（1月28日開催） 講演「子ども食堂が行政に期待する食育の取組、支援について」講師：特定非営利活動法人インクルいわて理事長 山屋 理恵氏 | ・市町村食育業務担当職員研修会を開催等により、市町村の計画改定、更新を支援する。 ・第16回食育推進全国大会を見据えた内容で実施 | (主要) IV-1 (参考) IV-1 |
| | (1) 市町村等における食育推進の支援 | 子ども子育て支援室 | | 子ども食堂等への支援 | ・子ども食堂等の子どもの居場所づくりに取組む市町村を支援した。 ・新規開設や既存施設の機能強化に要する経費の一部補助を行った。 | ・子ども食堂等の子どもの居場所づくりに取組む市町村を支援する。 ・新規開設や既存施設の機能強化に要する経費の一部補助を行う。 ・子どもの居場所づくりの取組拡大を図るため、「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じた開設・運営に関する支援や、子どもの居場所の立ち上げ及び機能強化に対する補助を行う | |

◆岩手県食育推進計画 県以外の主体の取組状況

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

●施策

- 1 幼児等の健全な食習慣の形成
- 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成
- 3 生涯にわたる健全な食習慣の形成

| 皆さんに期待すること | | | | |
|--|---|--|---|--|
| 家庭 | 幼稚園・保育所 | 学校 | 地域 | 食品関連事業者 |
| 市町村 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝食を食べる(準備する)習慣を身に付ける。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践する。 ・家族全員又は誰かと一緒に食卓を囲み、楽しい会話をしながら食事をする機会を作る。 ・一日に2回は、主食・主菜・副菜が揃った食事を食べる(準備する)よう心がける。 ・自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣を身に付ける。 ・学校が開催する給食交流会などの食に関する行事へ参加する。 ・学校が実施する食生活に関する取組を参考に、健全な食生活を実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食への興味と意欲や望ましい食習慣を育成するための取組を実施する。 ・家庭に対する食生活に関する相談や助言を実施する。 ・家庭や地域に給食を試食する機会を提供する。 ・子どもの口腔の健康づくりを行い、よく噛んで食べる習慣の形成に取り組む。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の形成に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動全体を通して児童生徒への食に関する指導を実施する。 ・家庭に対する啓発活動、食育に関する様々な情報を提供する。 ・子どもの口腔の健康づくりを行い、よく噛んで食べる習慣の形成に取り組む。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の指導を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療関係者等による口腔の健康づくりの実施により、自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣の形成・維持に取り組む。 ・近所等に健康的な食生活に関する情報を提供する。 ・学校が開催する給食交流会などの食に関する行事へ参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店での栄養成分表示を積極的に進める。 ・子育て世代(20～40歳代)が参加しやすい方法による健康や食に関する各種教室を積極的に開催する。 ・食生活改善推進員を養成する。 ・歯科医療関係者等と連携して住民の口腔の健康づくりを実施し、自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣の形成・維持に取り組む。 |

| 県以外の主体の取組状況 | |
|--|---|
| 取組状況 | 補足(委員) |
| 【事業者団体等】 <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する講演会の実施。 ・親子料理教室、食育教室の開催。 ・歯科医師会等の歯科関係団体が行政、学校その他の保健医療団体、8020サポーター等と連携し、地域において「歯と口の健康」、「噛むことの大切さ」を啓発。 ・食生活改善推進員団体、栄養士会等が地域において適量・適塩等の健全な食生活の定着に向けて啓発を実施。 ・栄養士会において子育て栄養相談、親子で学ぶ食育講座を実施。 ・岩手県食育推進ネットワーク会議において、保育所を訪問し、乳幼児期からの食育の必要性を伝える食育普及啓発キャラバンを実施。(県と共催) | 「いわて生活協同組合」として、 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のママ達が楽しく学べる企画を開催(料理教室、離乳食試食、キヤラ弁教育) ・長期休みの園児・小学生対象に「キッズクッキング」を開催 (野菜の炊き込みごはん、お野菜ジュウマイ作り、フルーツパンケーキ作りなど) ・親子産直見学や野菜、果物の収穫体験を企画 |

| 県以外の主体の取組状況 | |
|---|--|
| 取組状況 | 補足(委員) |
| <p>【教育振興運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、家庭、学校、地域、行政の役割と責任を明確にし、互いに連携しながら地域の教育課題解決のための取組を実施。 食育推進の取組事例 <ul style="list-style-type: none"> 「米づくりや豆腐づくり」(洋野町) 「みずき団子作り」(晋代村) 「親子料理教室」(軽米町) 等 <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者を対象に食に関する相談、手作りおやつ作り教室、離乳食講座等を開催。 ・朝食の大切さを学ぶ講話や調理実習を実施。 ・食育講座(栄養士の講話、ヘルシー栄養教室等)を実施。 ・かみかみ週間の実施、「食育の日・よくむ給食」の実施。 ・図書館と連携し、「歯」や「食」に関する本の企画展を実施。 ・学校で栄養教諭等による食育授業を実施。 | <p>「JA全農いわて」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ大会協賛 <p>大会協賛を通じて参加小学生及び保護者・指導者に対し、体作りに必要なバランスのとれた「食事の大切さ」と「食を支える国内農業の重要性の理解促進」を図った。小学生のソフトボール、野球、卓球、バレーボール、バスケットボール、柔道の各種大会において、チラシ、ノベルティの配布、広告掲出、副賞提供(県産農畜産物)を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・純情産地キャラバン <p>県「食育普及啓発キャラバン」にタイアップし、2018いわて純情むすめと純鬼が県内保育園等を訪問、クイズや純情体操等を通じて食の大切さと、食を支える農業への関心・親しみを深めた。(6月に出発式及び、岩手町・宮古市の2カ所を訪問)</p> |

Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

●施策

- 1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進
- 2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進

| 皆さんに期待すること | | | | |
|--|--|----|----|---|
| 家庭 | 幼稚園・保育所 | 学校 | 地域 | 食品関連事業者 |
| ・リスクコミュニケーションへの参加に努める。 ・食品表示や食中毒、食物アレルギーなどの食の安全について学ぶ。 ・食品表示を有効活用する。 ・牛肉・米トレーサビリティ制度により伝達された産地情報を、商品選択の参考とする。 | ・給食の時間や家庭科など関連する教科等の時間において、食品表示や食中毒、食物アレルギーなどの食の安全について学ぶ。 ・食品の生産、製造・加工、流通・販売に関して学ぶ。 ・リスクコミュニケーションへの参加に努める。 | ・ | | ・リスクコミュニケーションへの参加に努める。 ・食の安全安心の確保に関する情報を分かりやすく、適切に提供する。 ・施設見学などの実施を通して、食品の生産・製造・加工、流通・販売の仕組みなどの食の安全安心に関する学習を支援する。 ・食品に関する情報提供を推進する。 ・食品表示を適正に行う。 ・関係法令の順守及びトレーサビリティに必要な取組(牛肉・米穀等の取組情報の記録・保存及び産地情報の伝達の実施)を行う。 |
| | | | | 市町村 |
| | | | | ・消費者に対し、食品表示や食品衛生等に関する普及啓発を行う。 |

| 県以外の主体の取組状況 | |
|--|--|
| 取組状況 | 補足(委員) |
| <p>【事業者団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する講演会の実施。 ・親子料理教室、食育教室の開催。 ・歯科医師会等の歯科関係団体が行政、学校その他の保健医療団体、8020サポーター等と連携し、地域において「歯と口の健康」、「噛むことの大切さ」を啓発。 ・食生活改善推進員団体、栄養士会等が地域において適量・適塩等の健全な食生活の定着に向けて啓発を実施。 ・栄養士会において子育て栄養相談、親子で学ぶ食育講座を実施。 ・岩手県食育推進ネットワーク会議において、保育所を訪問し、乳幼児期からの食育の必要性を伝える <p>【事業者団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品適正表示推進者養成講習会を開催(県食協主催) ・小学生を対象に、鶏肉の飼育から製品に加工するまでの過程の学習と工場見学を実施。 <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全安心(食品表示等)に関する講習会を開催。 | <p>「いわて生活協同組合」として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のママ達が楽しく学べる企画を開催(料理教室、離乳食試食、キヤラ弁教育) ・長期休みの園児・小学生対象に「キッズクッキング」を開催 (野菜の炊き込みごはん、お野菜ジュウマイ作り、フルーツパンケーキ作りなど) ・親子産直見学や野菜、果物の収穫体験を企画 <p>「岩手県消費者団体連絡協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県消費者大会で、食の問題を考える分科会を開催。「ゲノム編集食品ってなあに？」をテーマに岩手県生協連の講師が話題提供し、参加者と意見交換した。(43名参加) ・日本生協連から講師を招き、ゲノム編集食品学習会を開催。(52名参加) |